

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	H29 年 10月31日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表名) 京都市長 門川 大作 (都市計画局公共建築部公共建築建設課) 電話 075-222-3651

京都市地球温暖化対策条例 ■第36条第1項 □第36条第3項 □第39条第1項 □第39条第2項において準用する同条例第36条第3項の規定により提出します。					
工 事 の 種 別		■ 新築 □ 増築			
工事着工予定年月日		平成 30 年 2月 1日			
工事完了予定年月日		平成 31 年 8月 31日			
建築物 の概要	名 称	京都市崇仁市営住宅新築工事 ただし、下西団地更新棟 (塩高ブロック)(仮称)建築工事			
	所 在 地	京都市下京区小稲荷町61番地 ほか			
	構 造	R C 造	階 数	地上10階 地下一階	
	敷地面積	1591.33平方メートル	高 さ	30.856メートル	
	建築面積	577.29平方メートル	床面積の合計 (増築部分の床面積)	3777.35平方メートル (平方メートル)	
	用途別の床面積	住 宅	3494.10 平方メートル		
		ホ テ ル 等			
		病 院 等			
		物品販売業を営む店舗等	283.25 平方メートル		
		事 務 所 等			
		学 校 等			
		飲 食 店 等			
		集 会 所 等			
工 場 等					
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		B E E 1 . 6 (A)			

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概要
■ 外 壁 , 屋 根 又 は 床 の 断 熱	外壁：RC内断熱（現場発泡硬質ウレタンフォーム A種 1） 床：現場発泡硬質ウレタンフォーム A種 1 ピット天井：押出法ポリスチレンフォーム保温板2種
■ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	バルコニー及び共用廊下の出による日射遮蔽
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	L E D照明の使用
■ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電設備の設置
■ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	ノンフロンタイプの断熱材の使用
■ 地 域 産 木 材 の 利 用	集会室の下足箱、床材・腰壁・天井材等に利用
■ 節 水 型 設 備 の 設 置	節水型便器の採用
■ 雨 水 , 雑 排 水 等 の 利 用	雨水貯留タンクの設置
■ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	構造躯体の劣化対策等級3 （住宅性能表示制度）
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	維持管理対策等級2 （住宅性能表示制度）
■ 緑 化 の 実 施	外構緑化の実施、中高木の配置
■ そ の 他	内装材のF☆☆☆☆の使用

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。